

特別企画

Special Edition

デジタル化に伴うメタルフリーを考える

Consideration for Metal Free in Dental Treatment
Attendant on Digitalization

企画要旨

今回の特別企画「デジタル化に伴うメタルフリーを考える」はここ数年貴金属とくに金、プラチナ、パラジウムの価格高騰により歯科用合金が一挙に影響を受け、臨床の現場に大きな影を落としています。また一般国民の歯科医療への関心度の向上から、審美性を追究する要求が高まり白歯部への金属冠への応用が変わりつつあるようです。これらの影響を受け臨床では、金属冠修復や義歯床へ応用する材料にメタルフリーの材料を使用する変化がでてきています。歯科保健治療においてもそのような材料が保険収載されるようになってきました。

そこで今回の特別企画としてメタルフリーの現状をそれぞれの専門家や企業の研究開発者の方々に執筆をご依頼し現状を詳らかにして頂くこととなりました。大変興味深い内容となりました。是非フェローの皆様お目を通し頂きたく存じます。

主な内容

■ デジタルデンティストリーの変遷と現状

末瀬 一彦

■ メタルフリー材料の理工学的特徴

宮崎 隆

■ メタルフリーを目指したセラスマート製品とそれを支えるテクノロジー

坂井 裕大

■ 新たに保険導入されたPEEK製CAD/CAM冠について

寺前 充司

■ 新たに保険導入されたPEEK冠

安部倉 仁

■ 3Dプリント義歯の臨床応用 —現状と展望—

羽田多麻木 岩城麻衣子 金澤 学

■ 歯科用合金による皮膚疾患への対応

押村 進